



# 例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988

大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会 長 山下 明

●幹 事 寺田 昌平

●会報委員長 堀川 和士



遠藤 隆浩

## <会長の時間>

### 「桃と邪馬台国について」

先週は雛人形の話をしてしまったので、その流れで桃について話しをします。

桃は古来より不思議な力のある食べ物とされてきました。

◎ 不老長寿、若返り、生命のシンボルとしての桃

・桃太郎の昔話は、現在は「桃の中から生まれた」とされていますが、江戸時代は「桃を食べた老夫婦が若返って桃太郎を産んだ」回春説の方が主流だったそうで、バイアグラも真っ青です。

・手塚治虫の孫悟空の漫画にもありました、中国の古代神話上の女神である西王母の桃の園の桃をたらふく食べて、不老長寿ということで 500 年経っても死なず、三蔵法師に諭され、更に 9000 年も生きてたそうで、桃を食べると仙人になれるとのこと。

・カカオは神の食べ物 (Theobroma cacao) ということで、かなり栄養価の高い食べ物ですが、桃には若返り成分は全くなく、桃の花、桃の香、桃の形などからの連想なのかなとも思います。古代桃は現在の桃と違って、梅の実かスモモ程度の大きさで、実が大変小さく固い品種だったそうで、しかも種子も梅の種子と同じ青酸カリ様成分が含まれていて、食べ物として利用されていたかどうか怪しいとのこと。

◎ 邪気を祓う祭祀としての桃

・古事記のなかで、イザナギが死んだ妻のイザナミに黄泉の国へ会いに行き、腐敗した妻を見て逃走するも追いかけられた。桃の実を 3 つ取り、投げつけ、無事この世に帰ってこられたということで、桃には邪や魔を祓う力があるとされてきました。

・節分の豆まき行事は 12 月の大晦日に行なわれ、江戸の初めに消えてしまった宮中の追難の儀式がルーツとされています。追難の儀式では鬼に豆をまくのではなく、桃の木、葦の矢、桃の木、杖で邪気を祓ったとされていました。室町時代以降、それまで邪気を祓う力があるとされてきた桃への信仰がすたれ、しかも 12 月の大晦日に行なわれた追難の儀式も 2 月 3 日の節分になり、桃でなく豆で邪気を祓うようになり、現在の節分になったようです。

◎ 今、桃のことでホットな話題は

・奈良県桃井市にある纏向遺跡から 2010 年 9 月、2000 個以上の古代桃の種と銅鐸の破片の出土と、3 世紀前半の大型建物跡 (同じ時期では国内最大規模) が発掘され、この建物は神殿様建築構造らしく、卑弥呼の宮殿の可能性があるとの報道がなされ、古代史に興味のある方はビックリ仰天されたそうです。

・その後の調査・研究で、2000 個以上の古代桃が祭祀用だったことも判明。桃は不老長寿の象徴で、道教=鬼道では祭祀に必ず使用されたということから、纏向遺跡と中国の道教 (鬼道) との

関連が説明されたことと、割れた銅鐸が発見されたことで、弥生時代の銅鐸に象徴された神の存在を否定し、別の宗教儀礼を信奉する集団、桃に象徴される神仙思想を引っさげて纏向の地に登場した集団があったということです。

・この集団が卑弥呼率いる邪馬台国の可能性が大とのこと。しかも、従来邪馬台国と古墳時代の大和王朝との間には 50 年とか 100 年位の Time-lag があり、関連性が薄いとのことでしたが、年輪年代法と炭素 (放射性炭素 14) 年代法などの研究によって、古墳時代は卑弥呼 (248 年頃死亡) の年代、3 世紀の前半頃と推定され、卑弥呼と大和王朝とが年代的合致をみたという驚くべき発表があったのです。しかも纏向遺跡にある箸墓古墳は卑弥呼の墓の可能性があるとのこと。

・ここ 1~2 年の間に邪馬台国論争は古代桃の大量出土から思わぬ展開を見せ始め、古代史に興味ある人達にとって目が離せない状況なのです。

## <幹事報告>

◎ガバナー、地区新世代部門委員長、地区 IA 小委員会委員長より

・教師部会開催のご案内

日時 5 月 18 日 (日)

受付 13:30 協議会 14:00~16:00

場所 四日市商工会議所 1 F ホール

出席者 次期会長、次期 IA 委員長、顧問教師

◎台北東海ロータリークラブより

・台北東海 RC 19 周年記念式典へご出席のお願い

日時 4 月 24 日 (金) 17 時 30 分受付開始 18:00 鐘鐘

場所 台北喜來登大飯店 (シェラトングランデ台北)

◎ガバナー、地区大会実行委員長より 地区大会記録紙

## <例会変更>

高山中央 … 4 月 14 日 (月) は、定款第 6 条第 1 節により、休会  
4 月 21 日 (月) は、1000 回記念例会のため

17:30~ ひだホテルプラザ に 変更

## <受贈誌>

ロータリー米山記念奨学会 (ハイライトよねやま 168)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	40 名	5 名	45 名	50 名	90.00%
本日	50 名	—	37 名	50 名	74.00%

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

# 例会報告

## <本日のプログラム> 国際奉仕委員会

委員長 鍋島 勝雄

本日は、高山市 海外戦略室 担当部長の田中 明 様に卓話をお願いしております。

実は年度当初計画しておりましたデンマーク大使の講話の際、通訳としてお願いしておりましたのが田中様であり、大使の件が白紙になって改めてどなたに卓話をしていただくか検討し、やはり市役所きっての国際派である田中様が適任でないかと本日に至った次第です。

プロフィールをご紹介します。田中様は昭和36年生まれ。大学を卒業後、商社に勤務し、貿易を担当。在学中にはデンマーク政府の奨学金を受けてコペンハーゲン大学に留学。昭和62年高山市役所入所後、16年間国際部門を担当。以後、教育委員会、久々野支所次長、地域振興室長、地域政策課長を経て、平成23年4月より現職です。

本日は市の海外戦略についてお話しいたきます。どうぞ宜しくお願い致します。



### ～高山市の海外戦略への取り組み姿勢～

高山市 海外戦略室担当部長 田中 明 様

私自身は、もともと外国語には興味はありましたが、例えば英語、フランス語などある程度メジャーな言葉は独自に学べると感じ、大学ではあまり話されていないデンマーク語を学びました。

その間、幸運なことにデンマーク政府から奨学金を受け、コペンハーゲン大学に一年間留学をさせていただき、デンマークで出会った人や異文化などの体験がその後の私自身の生活や仕事に影響を与えています。

デンマークは高福祉の国で、平等主義を基本として、全ての国民の生活を保障しています。平たく言えば、例え失業していても、子育て、教育、介護などは経済的な負担なく平等に享受でき、必要以上に明日の生活の心配をしなくとも暮らせるシステムとなっています。その代わりに、高い税金を納入しているわけですが、それを国民が了としているわけです。

現在、環境政策や男女共同参画などが進んでいるのはそうし

た背景があるからであろうと私は理解しています。

また、デンマークに滞在中には、いろいろな歴史・文化的背景を持った方々にお会いし、それを通じて異文化との接し方を学びました。

大学を卒業した後、東京で小さな商社に勤務した後、市役所での勤務を契機に高山に帰って参りました。

市役所に入所以来16年間、国際化の担当をし、その間にも様々な国から来られた方々と接する中で、国際結婚の難しさや、高山に住んでおられる外国人の方々の様々な相談に応じ、そうしたことを通じて国際理解の難しさなどを学ばせていただいた覚えがあります。

高山市への外国人観光客の入込状況は、平成25年（1月～12月）の宿泊者ベースで22万5千人となり、過去最高を記録しました。これは高山市の人口の2倍以上の数となり、そのような地域は日本広しと言えども他にないのではないかと思います。なお、昨年への外国人の入込は1千万人を超えています。日本の人口の2倍にはほど遠い数字です。

また、平成24年対比の伸び率は日本全体で24%であるのに対し、高山の場合は49%であり、いかに高山へ外国人の方々がお越しにいただいているかお分かりになるかと思います。

よく他の自治体の方から、高山市にはなぜこのように沢山の外国人が訪れるのか尋ねられますが、その際に必ず言わせていただくのは、高山市は約30年近く取り組みを行っており、自治体だけではなく、受入体制の整備など民間の方々が一生懸命におもてなしの子持ちを持って取り組んで来られた結果であるということです。

現在、日本は急激な少子高齢化、人口減少や、好転する兆しは見られるようになったとはいえ、これまでの長期に渡る不況による経済活動の低迷など厳しい状況に直面しているのに加え、情報、金融、物流などの分野においてグローバル化の波が押し寄せてきており、それは高山市においても同様です。

そうした経済や社会の変化にいち早く対応するためにも、これまで観光、商工、農政、国際交流などの分野でそれぞれに取り組みを行っていたものに横軸を通し、総合的に海外に向けた施策を推進することを目的として、平成23年4月、市の行政組織内に海外戦略室を設置しました。

私どもでは大切にしたい事柄があります。それは、「自らの価値に気付き、それをより高める」という基本姿勢で、「歴史、伝統、文化、価値観、風習、生活様式、商習慣などの違いが大きい海外と交流することは、地域の魅力や価値を再認識するとともに、よりそれらを高めていききっかけとなることから、外国人観光客誘致、地場製品の海外への販売促進、人や文化の交流といったそれぞれの分野においてより一層海外とのつながりを深め、高山市の伝統・芸術文化や地場製品の価値を向上させる。」というものです。

文化などが大きく異なる海外の方々と接することによって、改めて自らの財産の価値を見つめ直し、市長が常々

奉仕を通じて平和を

# 例会報告

言っていることでもありますが、私たちの有形無形の財産について「守るべきものは守り、高めるべきものは高める」ことを促すための取り組みをしたいと考えています。

海外戦略室の設置は市長が断行しました。その背景としては、市外から外貨をできるだけ沢山稼ぎ、稼いだ外貨をいかに市民サービスに充てるかという市長の思いがあります。

そのような中で、私たち市役所の事業部署は、市民サービスに必要な財源を確保するため、市内の事業者への支援をとおして、経済を活性化させるという役割を担っており、その役割を果たすには、誘客促進にしても、物販支援にしても、海外や国内を問わず、いかに外からの外貨を稼げるかということが一つの大きな鍵であると考えています。

海外戦略室の設置と同時に、現在は日本政府観光局（JNTO）の本部に1名、香港とパリ事務所にそれぞれ1名、日本貿易振興機構（JETRO）の本部に1名の計4名をそれまでの研修目的から戦略派遣として派遣しています。

これらの職員は、当然、派遣先の仕事をこなしながら、本庁の職員や部署と連携して、国内外で関係事業者や機関に対して日々営業活動を行っています。

さらに付け加えれば、私たちの日々の仕事が、海外活動とは一見関係の内容に思える、例えば小中学校の児童や生徒、過疎に苦しんでいるおばあちゃんやおじいちゃん、毎日汗して働いている親、試行錯誤しながら一生懸命に子育てをしている母親、時には自分の時間を削ってでも様々な文化・域活動をしている人々の生活にどう繋がっているのかを常に想像して仕事することを意識し、また職員とは自分たちがいることの証を残せるような取り組みをしようと日々激励しあっています。

海外戦略室の設置以来、市長による積極的な国内外でのトップセールスとそのフォローアップ、国や地域のニーズに沿った誘客パンフレットの一新、誘客と物販を組み合わせた取り組みの強化、SNSを活用した情報発信、来てもらって消費してもらうための仕組みの構築、実質的な広域連携を実践するために他の地域や自治体の観光資源の積極的なPRなど、微力ではありますがこれまでにない取り組みを進めつつあります。

## <ニコニコボックス>

### ●山下 明さん

①高山市 海外戦略室担当部長 田中 明 様、ご多忙の中ご来訪ありがとうございます。スピーチ楽しみにしています。

②3月9日の第61回高山市ソフトミニバレーボール大会、井上監督をはじめ選手の皆さんご苦労さまでした。一勝の壁は厚かったです。世話係の田中正躬社会奉仕委員長はじめ挟土さん、田中武さん、堀川さんありがとうございました。

### ●寺田 昌平さん

①高山市 海外戦略室担当部長 田中 明 様、年度末に入りご多用の中、ご来訪いただき感謝申し上げます。卓話楽しみにしています。

②義務教育9カ年開始出席表彰、青少年育成委員長 伊藤さんありがとうございました。

### ●伊藤 松寿さん

義務教育9カ年開始出席表彰、学校の手違いで名簿から漏れていた一人分の表彰状と楯を、卒業式前日東山中学校へお届けしました。

### ●鍋島 勝雄さん、堺 和信さん

国際奉仕委員会担当例会に、本日はお忙しい中、高山市 海外戦略室担当部長 田中 明 様をお願いして快諾して頂きありがとうございます。現在高山が取り組む課題を中心に講話を宜しくお願いします。

### ●阪下 六代さん、平 義孝さん

平素何かとお世話いただいております田中 明 様のご来会を歓迎申し上げます。

### ●挟土 貞吉さん

- ・田中様のご来訪を歓迎し、スピーチ楽しみにしています。
- ・先日のミニソフトバレー皆さんご苦労様でした。あの大会は我がクラブが勝つことが目標ではありません。高山と飛騨市の数百人もの子育てママたちがストレスを解消し夫婦円満な明るい、良き家庭で、良き子育てをしてくれることを願い「手を貸している」我が西クラブの素晴らしい継続事業です。参加してママさん達と「好意と友情を深める」ことに意義があるのです。

### ●井上 正さん

先日の高山西ロータリークラブ杯ソフトミニバレーボール大会には、多くのプレッシャーを頂く中、誠に残念ながら1勝どころか1セットも取ることが出来ませんでした。相手チームよりかなり手加減してもらいながらも3回で返すという基本すらおぼつかない状況ではありましたが、昨日山玉フラワーズの皆さんとおいしいお酒を吞ませていただきました。とにかく1勝、1セットでも取れる様毎週練習したいと思いますので、選手の皆様、是非参加を宜しくお願い申し上げます。

### ●西村 直樹さん

先日は妻の誕生日に素敵なお花を頂きまして誠にありがとうございました。仲良くいたします。

### ●野戸 守さん

明日は結婚記念のお祝い頂けるそうでありがとうございます。

### ●井辺 一章さん

菱川さん、沢山の高山線時刻表をありがとうございました。

### ●折茂 謙一さん

最近読んで面白かった本です。① 石田修一「怒り」②黒川博行「国境」③石森重隆「魂の経営」3冊ともとても面白いです。

### ●門前 庄次郎さん

本日は子も孫もないのに日枝中学校卒業式に出席させていただきました。やはり卒業式は感動しますね。少しホロっとしました。PTA会長の井上さんご苦労さまでした。

### ●脇本 敏雄さん

初田町1丁目町内会の班編成に対する改革が市民時報に掲載されましたが、その反響の多さに驚いています。今回の試みが同じ悩みを持つ他の町内会のモデルになるよう、来期も町内会長として頑張ることになりました。ご支援よろしくお祈りします。

### ●出席委員長 新田 敬義さん

本日お二人の無断欠席が発生しております。金銭的にも無駄でもありますので、無断欠席の撲滅にご協力下さい。



# 例会報告

## 第61回高山西ロータリークラブ杯争奪 高山市ソフトミニバレーボール大会

3月9日(日)、第61回となる高山西ロータリークラブ杯争奪高山市ソフトミニバレーボール大会が、飛騨高山ビックアリーナにて開催されました。



奉仕を通じて平和を